



20240926

校長の戯言 月 No.12 月 SEISHUKAN あ・ら・かると



鹿児島県立川薩清修館高等学校長 幸多優

■優しさは無意識に生まれる

朝夕には秋の気配が感じられるものの、日中はうだる暑さが続いている。二学期も始まり9月が残り1週間という時に嬉しいニュースが舞い込んできた。

★9/13(金)の夕方帰宅途中の本校3年生の女子3人組が偶然出逢った人助けエピソード。
国道3号線、可愛小学校近隣の交差点にて赤信号停車中の3人組。右隣には軽ワゴンが停車していたが、その中から小学生の男の子が飛び出してきた。どうしたのか尋ねると、後から高齢の男性運転手が「ガス欠になったようだ。孫がこの先のスタンドにガソリンを購入にいくところだ。」と孫が走り去るのを見送る。3人組もそのスタンドに向かい、スタンドの従業員に事情を説明した。3人組の後から孫がたどり着いた。スタンドの従業員は3人組と一緒に小学生をスタンドの事務室で待機させた。

車は単なるガス欠ではなく、年期の入った車両であり、故障の原因が分からず、スタンドの従業員と後からやってきた運転手の息子さんが対応していた。3人組は約一時間もの間、そのお孫さんの相手をしていたお陰で、運転手や息子さんは大助かりしたようだ。生徒たちに感謝の気持ちを伝えきれず、知人をとおして本校の職員へこの話が伝わってきた。ぜひ、この3人組を賞賛してほしいとのことであった。

★9/25(水)昼食時に3人組を校長室に呼び、事情を聞くことにした。

私は3人組に、君たちの好意がとても嬉しかったようで、学校で是非紹介して欲しいと連絡をいただいている旨伝えた。そこで写真を撮って記事にしたいと伝えると、「えっ、特別なことはしていません。これぐらいでそんなに褒められると、これから優しいことができなくなります。紹介したりしないでください。」と3人組から懇願された。そんな仲良し3人組であったが、無理やり写真撮影し、記事にすることも伝えた。今度は全校朝礼でもみんなに紹介するねと話した。



総合学科3年生

■谷口愛奈(川内南中出身) / ■押川未来(宮之城中出身) / ■諏訪史桜(祁答院中出身)